

白河市立大信中学校だより



三年先の稽古

令和6年11月28日
第39号

発行責任者：校長 亀田征利

教育目標
～ 夢を求め、健やかで
温かい生徒の育成 ～

たいしん
たくましく健やかな生徒
いのちを尊ぶ温かな生徒
真実と夢を追求する生徒

渋川先生：数学の授業研究（お疲れ様でした）

11月26日（火）5校時目に1学年で数学科の渋川雅史先生が研究授業を行いました。生徒たちは、関数領域の比例と反比例（式、表、グラフ）に真剣に臨み、自力で解決し、自分の考えをまとめ友達に説明しながら思考を練り上げていました。生徒の表情も渋川先生の表情も明るく笑顔が多く見られた授業でした。

研究協議会では、研修主任の佐藤先生をはじめ職員全員で指導力向上に向け活発に意見を出し合いました。

大信地区の保・幼・小・中連携として、大信小学校からも先生が来校し授業を参観されました。いただいた貴重な意見を生かしたいと考えます。



数学の研究授業を振り返って（生徒）

1 数学の授業で分かったこと

- 比例と反比例は、生活の中でも使えることが分かった。
- 求め方には、表と式とグラフがあって、どれでやっても同じ答えになることが分かった。
- グラフ、表、式どれが一番わかりやすいかを考えることができた。
- 友達と話し合うことで、反比例か比例かが分かった。
- 数学で習ったことが日常で使えることが分かった。
- ペア・グループでも話すことができよかった。

2 数学の授業で難しかったこと

- 授業で習ったことを生かしながら考えなくてはいけないところ。
- 表では簡単に求めることができたが、グラフで求めるのは難しかった。
- 文章を読んでから、式を書くところまですることが難しかった。
- 自分の考えを友達にうまく伝えることが少し難しかった。
- 友達にわかりやすく説明すること。
- 反比例か比例かを見分けること。



3 数学の授業で頑張ったこと

- 最初から友達に聞くのではなく、自分の考えを持ってから友達と話すこと。
- 友達と自分が意見を出し合い理解を深めたこと。
- 最後まで、話し合っ、他の人の考えを聞いて答えを出そうとあきらめずに頑張った。
- ミスをした所をただ答えを書いて直すのではなく、何でそうなるのかをいつもより考えた。
- グループの話し合いでは、どう話せば分かってもらえるか考えたこと。
- 自分の考えをペアの人に伝えること。

4 ペア・グループで話し合っ気付いたこと

- 協力すれば、難題も解けることに気付きました。
- 話し合っ自分の考えを深めることができました。
- 理解できなかったところもみんなの話を聞いて、納得することができました。
- 自分の考えと同じ人や違う人と話し合っ、自分の考えをより深めることができました。
- 自分の説明の仕方よりわかりやすい説明の仕方があることに気付いた。
- 考え方は一つでないことに気付きました。
- グループの人たちには違うと言われたが、説明し納得させることができた。
- 教えてもらっ分かるようになった。
- 自分とは違う考えの人もいましたが、その人の考えも理解することができた。

数学の研究授業を振り返って（研究会の様子）

